

Premiere Pro CS3の新機能 『Panasonic P2 ネイティブ対応』を活用



樋口 実氏



bless 「みんなのて」

使用製品

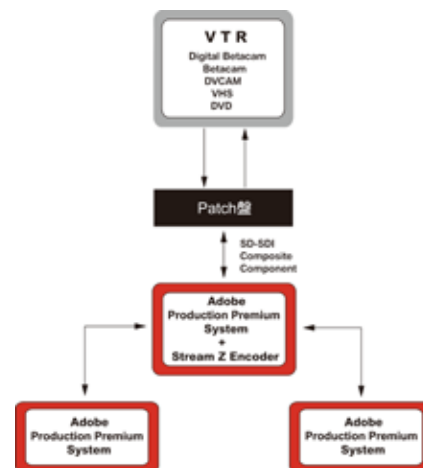
- Adobe Creative Suite 3
Production Premium
- Adobe Premiere Pro CS3
- Adobe After Effects CS3
- Adobe Encore CS3
- Adobe Photoshop CS3 Extended
- Adobe Illustrator CS3

トランス・デュースは、DVDのエンコードやオーサリング、プレス業務に実績を積んできた樋口 実氏が2006年8月に発足したプロダクション。樋口氏は、ポストプロのオーサリング部門立ち上げにも関与した経験を持つ。

その樋口氏ひきいるトランス・デュースは、得意分野であるDVD/CDオーサリングやプレスを中心としながらも、PVなどの映像制作、インターネットコンテンツ制作、エンコードやメディア変換サービス、インターネットによる素材提供サービスなどと幅広く業務分野を拡張している。現在の社内スタッフは7名で、外部スタッフとのコラボも組みながら数多くのプロジェクトをこなしている。

樋口氏が、Adobeのツールを使用し始めたのは、Premiere 1.0より。DVDのオーサリングのためのハイエンドシステムと併用して、撮影素材の取り込み、編集などを行っていた。その後、Premiere 5.5、6.0、CSシリーズと、現在まで必要不可欠なツールとして引き続き活用している。「当社の編集システムには、全てAdobeのツールが搭載してあります。エンコードや変換のサービス業務など、テープからの取り込みにもPremiere Proを利用しており、Premiere Proは、当社の業務の中心となるコアツールとして確立しています。個人的にも、Premiereをかなり長い間使用してきました」

現在、トランス・デュースはAdobe® Premiere® Proを搭載した編集システムを3台設置している。そのうち





Premiere Pro の編集画面

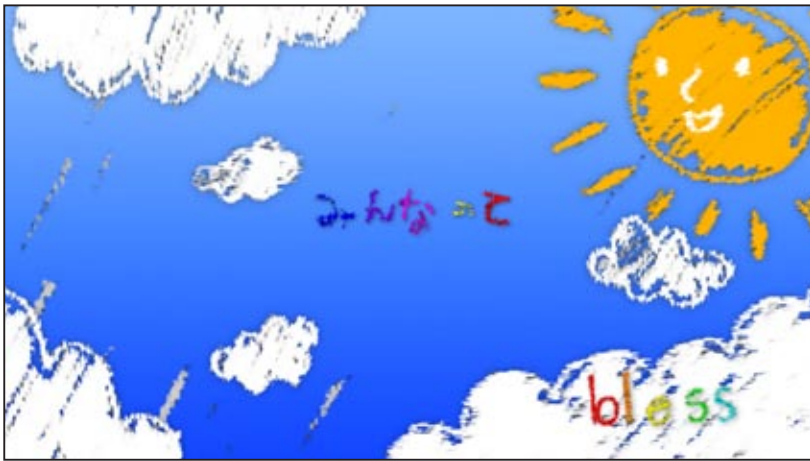


1台は、VTR 機材などと直結させ、アナログコンポーネントおよび SDI の入出力に対応した Blackmagic Design 社のキャプチャーカード DeckLink Extreme を搭載。ほか 2台はカメラと直接つなげて編集するなど、独立したシステムとして稼働させている。そしてそれぞれのシステムはギガビットイーサネットで繋げてデータのやりとりを行っている。

トランス・デュースでは、Adobe® Photoshop® や Adobe® Illustrator® での素材作成はもちろんのこと、Premiere Pro システムでの撮影素材取り込みや編集、そして Adobe® After Effects® でのアニメーションや合成など、Adobe 製品による一連のワークフローを形成している。DVD オーサリング業務には、Adobe® Encore® も活用。「Encore での DVD オーサリングは、手軽に効率よく行え、PV をはじめとした納期の迫ったプロジェクトなどによく利用します。時間があ、複雑な作り込みが必要なオーサリングにはハイエンドシステムも利用したりと、プロジェクトによって使い分けています」と樋口氏は話している。

トランス・デュースでは、Adobe® Creative Suite® 3 Production Premium へのアップグレードは、発売と同時にすぐさま行っている。Premiere Pro CS3 がバージョン 3.1 へと進化した際、樋口氏がいち早く利用したのが 9月のIBCで発表された新機能『Panasonic P2 ネイティブ対応』だ。P2 カードから直接 Premiere Pro CS3 に読み込み、タイムライン上ですぐに編集が可能。編集後は、直接 P2 カードに書き出しができる。

「bless という女子 2人組の HipHop アーティストのライブ用映像を制作する機会を得て、それには Panasonic AG-HVX200 のカメラを採用することとなりました。それに合わせてネイティブで編集が可能という Premiere Pro CS3 を使用してみたところ、ファイル変換が必要な他社製品よりも大変効率のよいワークフローで進行し、ハイクオリティな作品制作に成功しました」と樋口氏は話しており、やはり一番の大きな利点は「キャプチャーをする時間が省けること」と言う。



bless「みんなのて」のワンシーン

「P2によりテープレスがまさに実現され、MXFファイルフォーマットに対応したPremiere Pro CS3により現場で即編集できるメリットは大きいです。また編集後、P2カードに簡単に書き出しが行え、必要であれば再び取り込んで編集を再開することができます」

blessの撮影には、16GBのP2カードを2枚用意し、PCを介してポータブルHDDへP2カードの素材のバックアップを確保していった。P2は現在、即戦力の必要な報道で多く採用されているようですが、映像制作でも十分に使用できるクオリティーを持っています。今後に向け、普及が広がっていくものと見ています」と樋口氏は予見する。

Encore CS3も大いに活用している樋口氏は、Encore CS3が搭載している機能『SWFへの書き出し』が非常に有効であると言う。「DVD用に作成したEncoreプロジェクトから、映像もインタラクティブメニューの機能もそのままWeb展開できるんです。これは非常に使い勝手がよく、専用サイトにアップしてさまざまな用途、クライアントチェックなどにも活用しています」

「Adobeのツール群は、Production Premiumに搭載されたDynamic Link機能をはじめとして、それぞれのソフト間での連携強化がはかられてきました。トータル的な効率よいワークフローを形成するプラットフォームと言っても過言ではないでしょう」

お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー(AAD: Adobe Advanced Dealer)でお買い求めください。AADリストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ(www.adobe.com/jp)で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーサービス(tel.0570-067337【ナビダイヤル】)へお問い合わせください。Adobe Open HD 認証編集システムの詳細は、Adobe Pro Video Reseller(www.adobe.com/jp/motion/pvr)へお問い合わせください。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・www.adobe.com/jp
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・www.adobe.com

カスタマーサービス (製品に関するお問い合わせ) 0570-067337 (ナビダイヤル)

アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-61-3884

受付時間 9:30~17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere ProおよびAfter Effects、Encore、Photoshop、Illustratorは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2007 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

